

# 財務情報ハイライト

## 単体決算

### ▶ 2025年9月期（2025年度中間期）の損益状況

#### ▶ 主要損益等の推移

■ コア業務純益 ■ 経常利益 ■ 中間純利益

(億円)

120 -

100 -

80 -

60 -

40 -

20 -

0 -

82

69

54

88

80

63

91

94

71

114

115

82

2022年9月期

2023年9月期

2024年9月期

2025年9月期

#### ▶ 損益状況等

(単位:百万円、%)

	2025年9月期	2024年9月期	
		前年同期比	
業務粗利益	28,422	2,432	25,989
資金利益	25,350	2,034	23,316
役務取引等利益	5,558	△160	5,719
その他業務利益	△2,487	558	△3,045
うち債券関係損益(債券5勘定戻)	△1,576	△798	△778
経費(除く臨時処理分)(△)	18,539	943	17,596
実質業務純益	9,882	1,488	8,393
コア業務純益	11,459	2,287	9,172
除く投資信託解約損益	10,864	2,368	8,495
一般貸倒引当金繰入額(△)	△642	△434	△207
臨時損益			
株式関係損益(株式3勘定戻)	1,149	733	416
不良債権処理費用(△)	1,682	1,139	542
償却債権取立益	916	708	208
その他臨時損益	627	△118	746
経常利益	11,535	2,106	9,428
特別損益	△0	12	△13
税引前中間純利益	11,534	2,119	9,415
法人税等(△)	3,334	1,113	2,221
中間純利益	8,200	1,006	7,193
自己資本比率	13.01	3.11	9.90
(参考)与信関係費用(△)	123	△4	127

①コア業務純益は、貸出金利息や有価証券利息配当金を主因に資金利益が増加したことから、前年同期比22億87百万円増加し114億59百万円となりました。

②経常利益は、これに加えて株式売却益が増加したことから、同21億6百万円増加し115億35百万円となりました。

中間純利益は、同10億6百万円増加し82億円となりました。

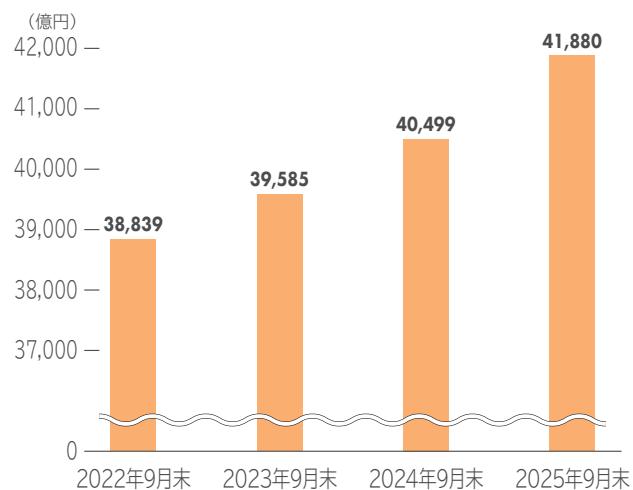
## ▶ 主要勘定の状況

(単位:億円、%)

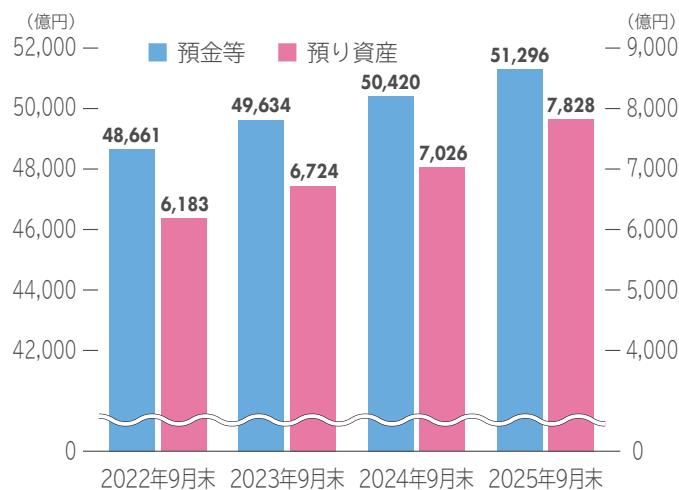
	2025年9月末	前年同期末比		2024年9月末	2025年3月末
		増加額	増加率		
貸出金	41,880	1,380	3.4	40,499	41,264
うち事業性貸出	23,116	794	3.5	22,322	22,801
うち非事業性貸出	16,629	561	3.4	16,067	16,422
預金等(譲渡性含む)	51,296	876	1.7	50,420	50,936
預り資産(投信等)	7,828	801	11.4	7,026	7,219
(預金等+預り資産)	59,124	1,678	2.9	57,446	58,155

- ・貸出金残高は、県内企業及び個人のお客さまの資金需要に積極的かつ迅速にお応えした結果、事業性・非事業性ともに伸長し、前年同期末比1,380億円(年率3.4%)増加し、4兆1,880億円となりました。
- ・預金等残高は、前年同期末比876億円(年率1.7%)増加し、5兆1,296億円となりました。
- ・預り資産残高は、前年同期末比801億円(年率11.4%)増加し、7,828億円となりました。

### ▶ 貸出金の推移



### ▶ 預金等・預り資産の推移



預金等……………預金及び譲渡性預金。

預り資産……………投資信託、生命保険、国債等の合計。投資信託は時価ベース残高、生命保険は有効契約残高。

## ▶ 連結決算

### ▶ 連結対象会社

対象となる子会社は、以下の8社です。

ぶぎん総合リース株式会社

ぶぎん保証株式会社

むさしのカード株式会社

ぶぎんシステムサービス株式会社

株式会社ぶぎん地域経済研究所

株式会社ぶぎんキャピタル

むさしのハーモニー株式会社

むさしの未来パートナーズ株式会社

### ▶ 連結営業成績

(単位:百万円、%)

	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	自己資本比率
2025年9月期	48,903	11,697	8,107	13.60
2024年9月期	40,989	9,533	7,036	10.31
前年同期比	7,914	2,164	1,071	3.29

## 大株主

株主名	持株数 (千株)	発行済株式(自己株式 を除く)総数に対する 持株数の割合(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,387	13.24
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,443	7.37
株式会社千葉銀行	925	2.79
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	836	2.52
明治安田生命保険相互会社	735	2.22
住友生命保険相互会社	702	2.12
武蔵野銀行従業員持株会	683	2.06
前田硝子株式会社	606	1.82
高橋 慧	516	1.55
日本生命保険相互会社	507	1.53

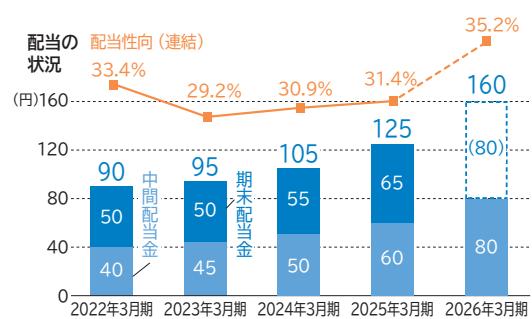
注1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 持株比率は自己株式(264千株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。なお、自己株式には、役員報酬BIP信託に係る信託口が保有する当行株式(92千株)は含まれておりません。

## TOPICS 株主還元充実と株主基盤強化に向けて

### 株主還元の一層の充実 ~5年連続の増配~

- 直近の業績動向等を総合的に判断し、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするため、1株当たり中間配当金を20円増配となる80円に、あわせて期末の1株当たり配当金を15円増配となる80円にすることといたしました。
- 2026年3月期の年間配当金は2025年5月9日に発表した配当予想140円から20円上方修正の1株当たり160円となります。



### 株主還元方針の見直し ~目標配当性向を引上げ~

- 累進的な配当を行うことを基本方針とし、配当性向は親会社株主に帰属する当期純利益の40%程度を目標といたします。
- 自己株式の取得についても、資本水準や市場動向等を踏まえ機動的に実施してまいります。

\* 詳細につきましては、2025年11月7日公表の「剩余金の配当(増配)及び配当予想の修正、並びに株主還元方針の見直しに関するお知らせ」をご覧ください。

### 株式分割 ~投資単位の引下げ~

- 投資家の皆さまがより投資しやすい環境を整備するため、2026年3月31日を基準日、2026年4月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき3株の割合をもって分割いたします。